

●向井池北側エリアの修景について（どんぐりの森づくりプログラム）

□目的

- ・地域子どもたちを対象に、公園内のどんぐりを使い、森をつくり・育む機会を提供し、環境学習機能の向上と地域との連携を図る。
- ・植樹後の経過を子どもたちに知ってもらおうとともに、継続的な苗木の手入れや観察を行うことで、自然を慈しむ心を養い、自分たちの手で成長させる喜びを感じてもらおう。

□対象者

- ①地域の保育園、泉佐野丘陵緑地を利用している支援学校
- ②地域の小学校中学年（3～4年生）
→小学校の環境教育（理科もしくは社会の授業）として参加してもらおう

□内容

STEP1：どんぐり拾い

- ・初年度の秋、コラボレーション区域の樹林内でどんぐりを拾う。
- ※拾ったどんぐりの一部を使った工作会も実施し、子どもたちに楽しみながら自然に触れてもらおう。（来園時に工作するか、学校で工作するかは学校との協議による）



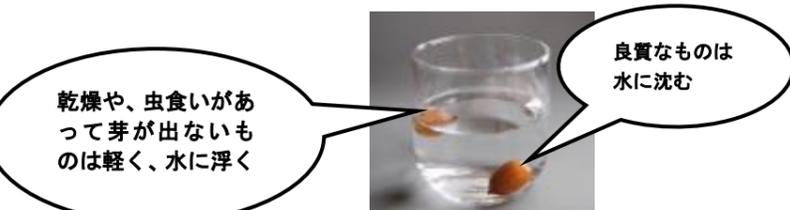
どんぐり拾いのイメージ



工作会のイメージ

STEP2 苗木の育成

- ・拾ったどんぐり（水を張った容器にどんぐりを入れ、沈んだものを育成に利用、浮いたものは工作に利用）は、プランターに土や落ち葉と一緒に植える。
- ・水やりを春、夏は毎日行い、特に夏は乾燥に注意する。秋は土が乾いたら水やりをする。
- ・小学校では環境学習の一環として、クラスで苗木の世話をを行う。
- ※学校単位で育苗する樹種を決めてもらう。
- ※STEP1→STEP2の段階を踏むことが難しい場合は、大阪府が拾ったどんぐりを学校で育てるSTEP2から開始する。



良質などんぐりを選ぶ



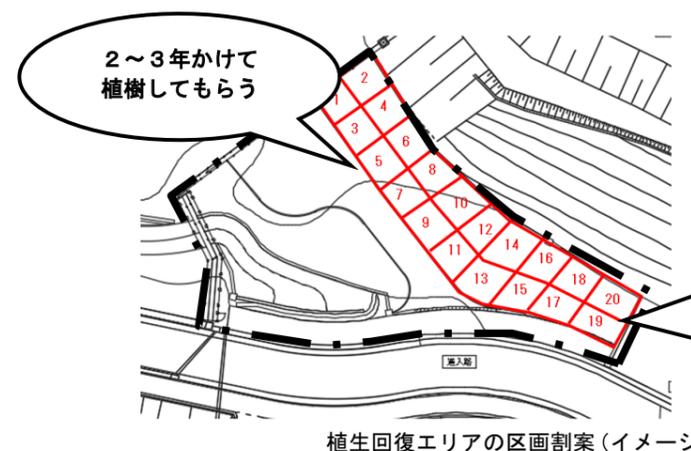
小学校等でのどんぐりの苗木育成のイメージ



STEP3：どんぐりの木の植樹

○苗木の植樹

- ・どんぐり拾いの翌年の秋もしくは翌々年の春、植生回復エリアで成長した苗木を植えてもらう。
(3年生の秋に育苗開始→4年生の秋もしくは5年生の春に植え付け)
- ※プランターから根を切らないように分けて植えてもらう。

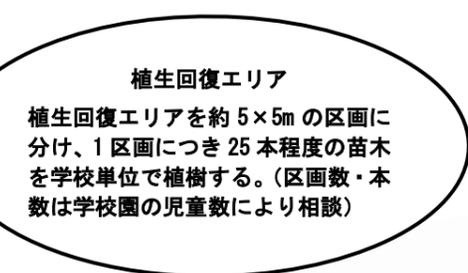


植生回復エリアの区画割案(イメージ)



植樹のイメージ

エリア毎に植樹を行う様子



○記念プレートの作成・設置

- ・植生回復エリアでの植樹後は、園内の伐採木や伐採竹を使った記念プレートをつくり、学校毎にプレートを取り付ける。



記念プレート設置の様子



記念プレートのイメージ

STEP4：成長記録・苗木の手入れ

- ・苗木の成長の観察を行い、樹高の測定やスケッチ等を行う。子どもたちには、観察を通して楽しみながら自然について学んでもらう。
- ・観察前には、植樹した苗木の手入れ（水やり、除草等）を行ってもらい、みんなの手でどんぐりの森を継続的につくり・育む活動を展開する。
- ※水やり・除草については、個人的に来園した時でも、パークセンターに申し出てもらえればジョウロ等の道具の貸与を行う。



苗木の観察を行う様子



苗木に水やりをする様子



苗木の成長記録帳のイメージ

どんぐりの森づくりプログラム



どんぐりの森づくりプログラムってなんだろう？

みんなの手で、森をつくり、育てよう！泉佐野丘陵緑地では、いろんな種類のどんぐりを見つけられるよ。見つけたどんぐりを学校やおうちで大きく育てたら、泉佐野丘陵緑地に苗木を植えに戻ってきてね！植えた苗木はみんなでお世話して、ここにしかないどんぐりの森をつくり、育ててみよう！

プログラムのきまりごと

- ・どんぐりの苗木を植樹した後も、できるだけ見に来てね！どんぐりの木は時間をかけてじっくり育ちます。
- ・植えたどんぐりがうまく成長しないこともあります。
- ・泉佐野丘陵緑地の、「生き物を持ち込まない・持ち出さない」というきまりを守ってプログラムに参加してね。

どんぐりの森づくりプログラムではどんなことができるの？

ステップ1：どんぐりを拾おう！

- ・秋になったら、泉佐野丘陵緑地へどんぐり拾いにでかけよう！拾ったどんぐりは、なんという名前のどんぐりか調べてね！
- ・拾ったどんぐりは学校やおうちで育てるほかにも、どんぐりの工作をしてもいいよ。



ステップ2：苗木を育てよう！

- ・拾ったどんぐりは、どんぐりが落ちているまわりの土と一緒にポットに入れて持って帰って育てよう。どんぐりは乾燥に弱いので、春、夏は毎日、秋は土が乾いたら水をあげてね。
- ・芽が出てくるのは、春になってからだよ。それまで愛情たっぷり、水を上げるのを忘れずに！



ステップ3：どんぐりの木の植樹祭に参加しよう！

- ・どんぐりを拾った次の秋に、泉佐野丘陵緑地でどんぐりの苗木を植えよう。
- ・植樹した場所に、公園内の木や竹でつくった記念プレートを取り付けるよ。



ステップ4：苗木の世話をしよう！

- ・植樹した苗木を立派な木に育てるには、水やりや草引きなどが必要だよ。見に来た時に、手助けしてあげようね！
- ・どんぐりの成長を見守る、観察会をしよう。小さな苗木がいつかみんなの背丈を追い越すくらい大きくなるよ。



どんぐり豆知識

■元気などんぐりの見分け方

水の中にどんぐりを入れると、元気なものは水に沈むけど、乾燥や虫食いがあって芽が出ないものは軽く、水に浮いてしまうよ。

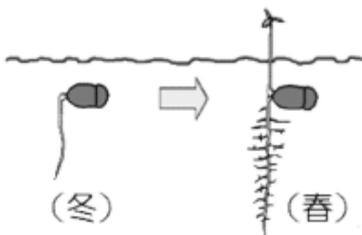
水に浮くものは芽
がでないよ



元気なものは
水に沈むよ

■どんぐりの成長

どんぐりは冬の間にはまず根を出し、春になったら芽が出てきます。ポットの中で育つどんぐりを観察してみよう！



園内のどんぐり紹介

■コナラ

細いどんぐりで小さな帽子がついています。ぎざぎざの葉は秋になると紅葉します。



■クヌギ

丸いどんぐりで、帽子はとげとげしています。細長い葉はぎざぎざしていて、秋に紅葉します。



■アラカシ

どんぐりの帽子にはしまもようが入っています。葉の先がとがっていて上半分はぎざぎざしています。



■ウバメガシ

卵型のどんぐりに小さな帽子がついています。卵型の葉は1年中緑色でふちがぎざぎざしています。



■スダジイ

細長いどんぐりを帽子が包みこんでいます。葉の上半分はぎざぎざで1年中緑色をしています。



■コジイ (ツブラジイ)

小さくて丸いどんぐりを帽子が包みこんでいます。1年を通して緑色の葉を見ることができます。



どんぐりの森づくりプログラムイメージ

以下のプログラムはイメージ案ですので、実施する学年やご要望により変更可能です

STEP1：どんぐり拾い

① 1日コース

午前中：泉佐野丘陵緑地&どんぐりについてのお話（どんぐりにも種類があるよ）：15分程度

→ 園内散策&どんぐり拾い：90分程度

→ 拾ったどんぐりの種類や数の確認・選別：15分程度

（拾ったどんぐりを水につけて、育苗するものと工作用に選別します）

お昼休憩：パークセンター周辺や郷の館周辺をご利用ください

午後：工作教室&どんぐり遊び（どんぐりを使った簡単な工作や遊びを体験）：1時間程度

※パークセンターにある竹馬等もご利用いただけます

② 半日コース（作業時間 60分）

公園到着：泉佐野丘陵緑地&どんぐりについてのお話（どんぐりにも種類があるよ）：15分程度

→ どんぐり拾い：20分程度

→ 拾ったどんぐりの種類や数の確認・選別：15分程度

STEP2：苗木の育成（1コマ）

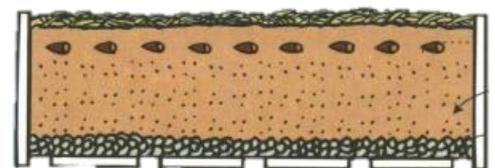
※できるだけどんぐりを拾った次の日に実施してください

※STEP2からのプログラム参加も可能です

○1コマ（45分）で作業をします

最初のお話（10分） → プランターへ土入れ（5分） → どんぐり植え（5分）

→ 育苗場所へプランターを移動・水やり（10分） → これからのお世話について（10分）



STEP3：どんぐりの木の植樹（STEP2の1年後～1年半後）

○ 半日コース（作業時間 60分）

最初のお話（10分） → 植え穴掘り（10分） → どんぐり植え付け（10分）

→ 水やり（5分） → プレート立て付け・記念写真（15分）

→ これからのお世話について（10分）

工作教室 & どんぐり遊びイメージ

■ 工作教室

○ どんぐりゴマ



○ どんぐり人形



○ どんぐりマラカス



■ どんぐり遊び

○ どんぐりクレーン



○ どんぐりボーリング



どんぐりの森づくりプログラムイメージ

以下のプログラムはイメージ案ですので、ご要望により変更可能です

STEP1 : どんぐり拾い (作業時間 50 分)

公園到着 : どんぐりについてのお話 (どんぐりにも種類があるよ) : 10 分程度

→ どんぐり拾い : 30 分程度

→ 拾ったどんぐりの種類や数の確認・選別 : 10 分程度

(拾ったどんぐりを水につけて、育苗するものと工作用に選別します)

※植え付け用以外のどんぐりは工作等にご利用ください

※途中トイレ休憩や散策等の時間を入れることもできます

STEP2 : 苗木の育成 (作業時間 30 分程度)

※できるだけどんぐりを拾った当日もしくは次の日に実施してください

最初のお話 (5 分) → プランターへ土入れ (10 分) → どんぐり植え (5 分)

→ 水やり (10 分)

STEP3 : どんぐりの木の植樹 (作業時間 50 分程度)

公園到着 : 最初のお話 (5 分) → (植え穴はあらかじめ掘っています)

→ どんぐり植え付け (10 分) → 水やり (10 分) → プレート立て付け・記念写真 (20 分)

→ これからの世話について (5 分)